

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】



川井かわい小学校の保護者（約30名）が現場見学を
とおして道路整備による地域への効果について学びます
～ 宮古箱石道路 箱石地区はこいし道路工事現場見学会 ～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、宮古市川井小学校の保護者約30名による現場見学会を、下記の日程で開催することとしますのでお知らせいたします。

今回の見学会は、去る4月21日に開催された安全祈願祭を川井小学校の児童の皆様に見学していただいたところ、児童の保護者の皆様から『ぜひ我々も』との声が挙がりPTA会員の研修として、宮古箱石道路の整備状況と整備効果について学ぶ現場見学会を開催することとなりました。

- 開催日時 : 平成28年 7月23日(土) 13:30から(1時間程度)
- 集合場所 : 宮古市箱石地内…別紙-1(位置図)参照
- 見学場所 : (仮称)新箱石トンネル
- 実施内容 : 別紙-4(現場見学スケジュール)参照
- その他 : 現場に入場する際のヘルメットは、当方で準備いたしますので、必要個数をご連絡ください。
雨天の場合も開催します。
※ 記者のみなさまの見学会参加も可能です。

◀発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者クラブ▶

問い合わせ先

【見学会の内容に関する問い合わせ】

○国道106号 箱石地区道路工事

株式会社 安藤・間あんどう はざま 新箱石トンネル作業所
〒028-2304 宮古市箱石第4地割27

所 長 佐々木 照夫 電話0193-85-1525

【事業に関する問い合わせ】

○国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

副 所 長 平岡 弘志 (内線204) 電話0193-62-1711 (代表)

工務第一課 建設監督官 庄司 彰 (内線504)

(復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、 で検索できます。)

【国道106号 箱石地区道路工事 現場見学会 会場案内図】



国道106号 箱石地区道路工事 安藤ハザマ 新箱石トンネル作業所

〒028-2304 岩手県宮古市箱石第4地割27
TEL:0193-85-1525 FAX:0193-74-2535

宮古箱石道路（宮古～箱石） L = 33 km

路線概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

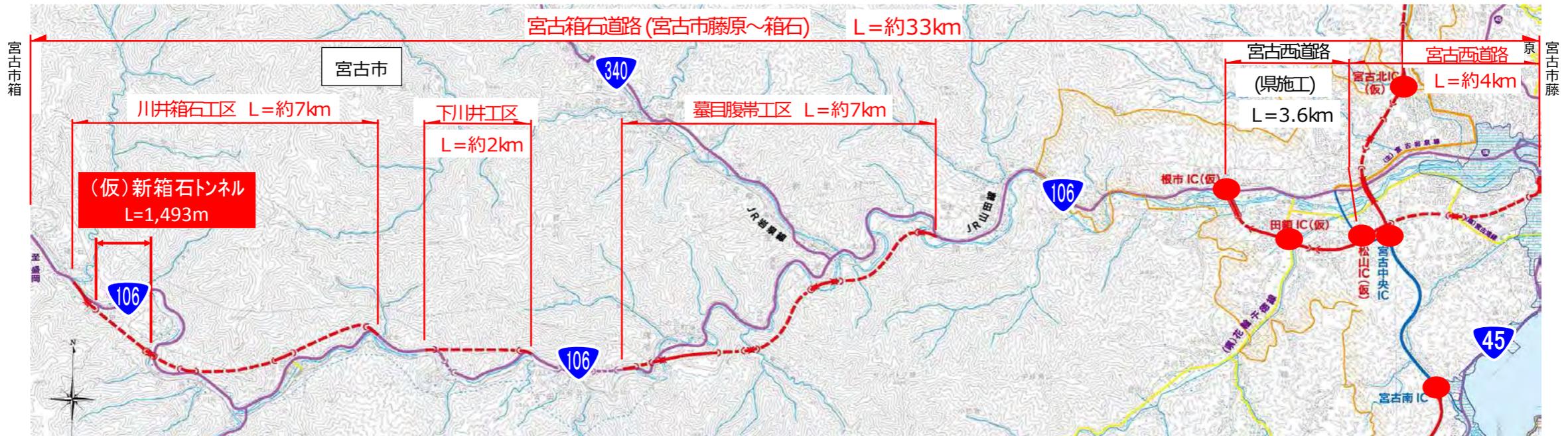
平成28年度は、昨年度に引き続き、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を進めて行きます。

計画諸元

宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起 点	宮古市藤原
終 点	宮古市箱石
延 長	33km
工 区	(宮古西道路)※国施工分 (茂市隆帯工区、下川井工区、川井箱石工区)
幅 員	2車線 13.5m 2車線 12.0m
構造規格	第1種第3級 第3種第2級
設計速度	80km/h 60km/h



久慈方面から松山IC(仮)付近を望む



災害時における緊急輸送路の確保

- 東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）

国道106号 救援支援物資輸送612回

3月12日～4月末：県トラック協会契約分



⊗ : 震災時の津波による通行止め箇所

⊕ : 震災時の津波浸水箇所

▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市愛宕交差点



写真② 宮古市磯鶏地区



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
- 宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼ 国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

回数： 22回

合計時間： 111時間 資料：岩手県（H17-H26）



宮古～箱石区間の国道106号

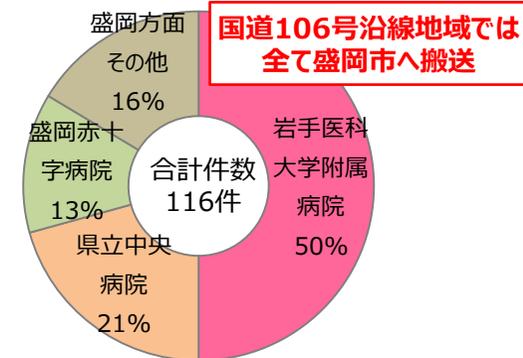
急カーブ箇所
(R<150m)
14箇所



宮古箱石道路

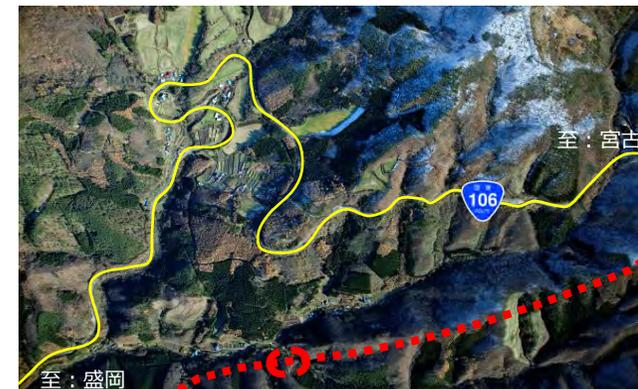
急カーブ箇所
(R<150m)
0箇所

▼ 宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H26）



※ 国道106号沿線地域
宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼ 区界地区の急カーブ状況



新たな観光ルート誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 宮古盛岡横断道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数
: 201万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数
: 162万人/年)



展勝地
(北上市入込客数
: 125万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数200万人/年)

中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



船越半島大釜崎(山田町)



基石海岸(大船渡市)



三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



北山崎(田野畑村)



龍泉洞(岩泉町)



国道106号 箱石地区道路工事

復興支援道路 宮古盛岡横断道路



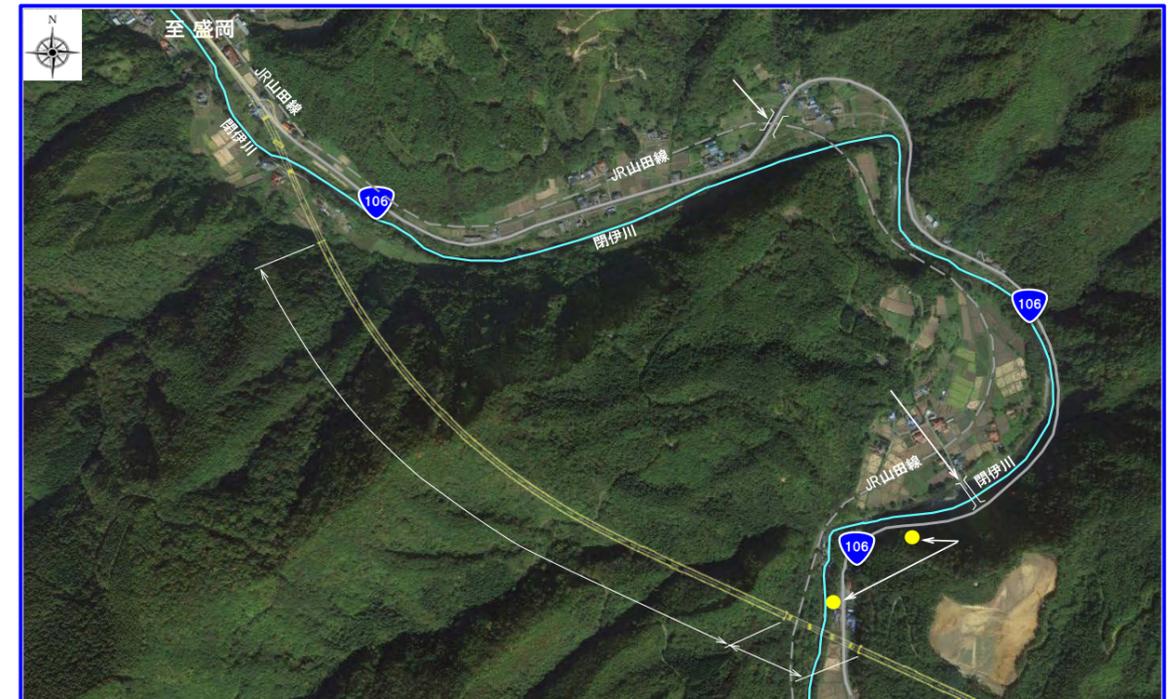
【工事概要】

工事件名：国道106号 箱石地区道路工事
 工事場所：岩手県宮古市川井～宮古市箱石 地内
 工期：平成26年12月17日～平成30年2月28日
 発注者：国土交通省 東北地方整備局
 受注者：株式会社 安藤・間

宮古箱石道路は、宮古市から盛岡市までの地域高規格道路（国道106号）で、東日本大震災を機に「復興支援道路」と位置付けられ、沿岸と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援することを目的として整備されています。

【工事内容】

（仮称）新箱石トンネル 延長 1,493m（内空断面 約88㎡）
 （仮称）上片巣橋 橋台 1基（A1）、橋脚 2基（P1、P2）、仮栈橋 2基



（仮称）新箱石トンネル



（仮称）新箱石トンネル
 終点側坑口

（仮称）上片巣橋



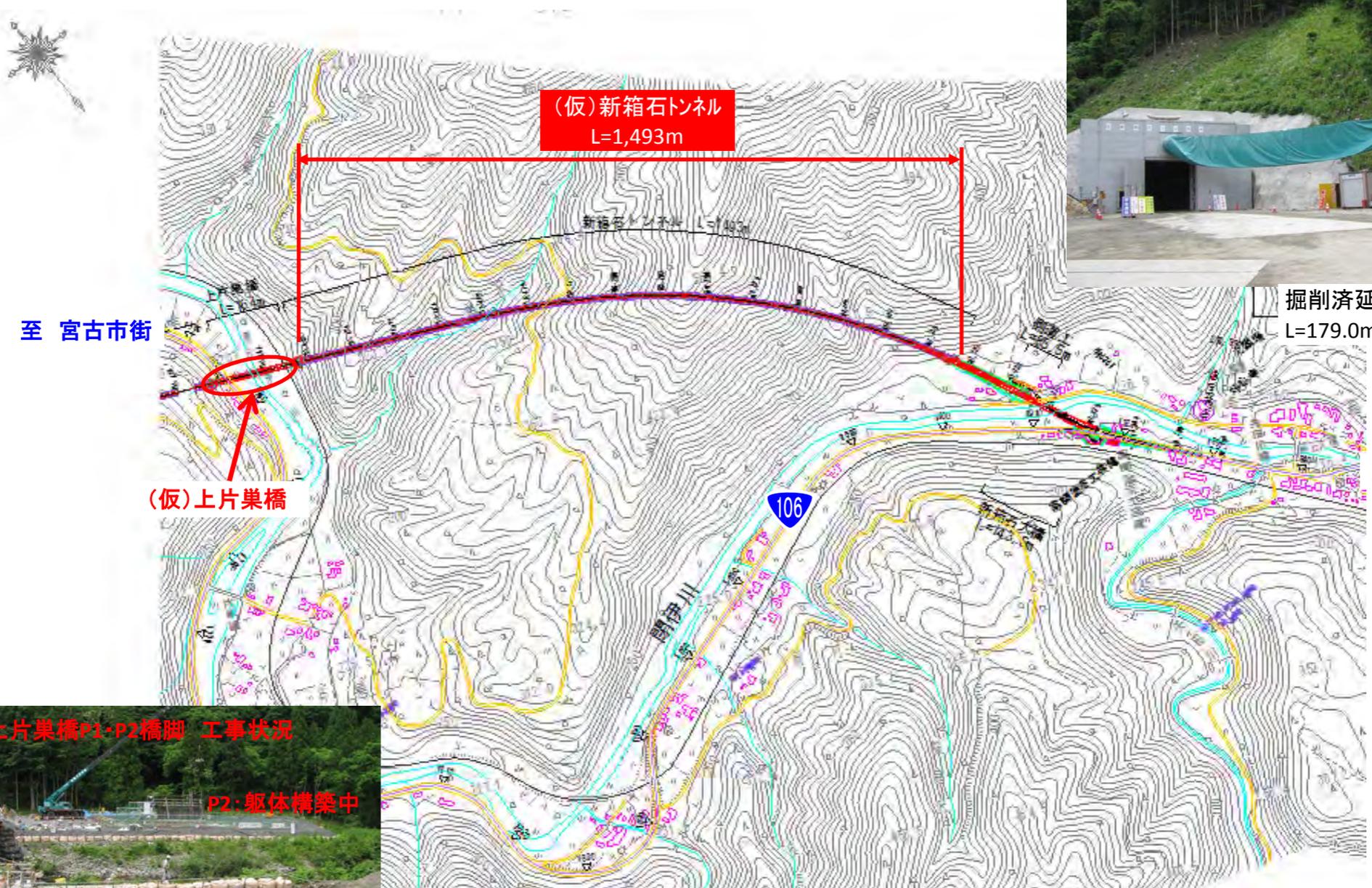
（仮称）新箱石トンネル
 起点側坑口 （仮称）上片巣橋

完成イメージ

宮古盛岡横断道路 川井小学校PTA 箱石地区道路工事 現場見学会 スケジュール

開始時間	内 容	所要時間	説明者
13:30 ~	ご挨拶・宮古盛岡横断道路の説明 ・『命の道』復興支援道路 宮古盛岡横断道路	(15分)	庄司建設監督官(三陸国道)
13:45 ~	(仮称)新箱石トンネル 工事概要説明 ・工事の内容説明 ・トンネルの作り方説明	(10分)	飯田監理技術者(安藤・間) or 佐々木現場所長(安藤・間)
14:00 ~	(仮称)新箱石トンネル 坑内見学 ・トンネル掘削機械の説明 ・記念写真 撮影 ・質問タイム	(20分)	飯田監理技術者(安藤・間) or 佐々木現場所長(安藤・間)
14:30 ~	見学会終了(現場出発)		

箱石地区道路工事 工事進捗状況



掘削済延長
L=179.0m(7月11日現在)

至 盛岡市